

2021年3月に国際総合学類を卒業した山本進ノ介君と内藤教授とのモバイルネットワークと家計の金融包括に関する共同論文が、Elsevierから出版されている国際学術誌Telecommunications Policy (インパクトファクター 3.51)に受理されました。

この論文は山本君の国際総合学類のゼミでの研究および卒業論文を進展させたものです。これまで、サブサハラ諸国など途上国では、多くの貧困層が銀行口座を持つことができず、送金や貯蓄などのサービスを受けることができていませんでした。一方、世界中で紙幣による経済活動をモバイルマネーによって置き換える動きが進んでおり、それが貧困層の送金などの金融サービスへのアクセスを増加させると期待されます。

山本君と内藤教授のチームは、モバイルマネーの市場浸透度が異なる途上国6カ国（ケニア、タンザニア、ウガンダ、パキスタン、バングラディッシュ、ナイジェリア）のモバイルネットワークデータをデジタル的に処理し、GPS情報を通じて、家計サーベイデータと重ね合わせました。そして、各家計のモバイルネットワークへのアクセス度と金融包括の関係を調べました。研究では、金融包括を増やすためのいくつかの政策的含意を導き出しています。

